

山 国

スローガン

みんな仲良し福祉の里やまくに

実践目標①お互いに助け合う見守り体制づくり

実践目標②誰もが生き生きと楽しくつながろう

実践目標③自ら作ろう安全・安心 自主防災組織



中津市の南西に位置する山国地区は、市内で最も高齢化率が高く、一人世帯や高齢者世帯の増加から、災害時などの支援体制づくりや見守りネットワークの立上げが行なわれています。

また、地区内の支え合い活動推進では、地域のボランティア活動や、いきいきサロンが活発に行われ、地域同士のつながりが生まれています。さらに、住民型有償サービス「やまくにつゆくさサービス」の活動など、住民主体の取り組みが進められています。

地域福祉ネットワーク協議会「“源流の郷”やまくに福祉の会」は、これらの活動の推進を担っています。

	2011 (H23) 年	2016 (H28) 年	2021 (R3) 年
人口	2,841	2,445	2,086
世帯数	1,142	1,080	997
高齢化率	43.9%	47.9%	53.0%
一人暮らし高齢者	278	281	295
高齢者のみの世帯		818	763
0~18 歳人口	312	246	182

※各年ともに9月30日時点のもの(中津市の統計データより)

実践目標と理由・効果

実践目標①

お互いに助け合う見守り体制づくり

山国地区では、過疎高齢化が進み高齢者世帯や一人暮らし世帯、また、ひきこもりの人が増え、それに伴い健康面や生活面での不安を抱える人も増えてきています。そのような中で、一昨年から見守りネットワークが数地区立ち上がり活動を始めていますが、声かけや支援を必要としている人への関わりの必要性を実感しているという声が聞かれています。また、見守られる側からも「安心して生活が送れる。心強い。」などの声も聞かれています。そのような見守り体制づくりの取り組みを山国地区全体に立ち上げ、誰もひとりにはしない地域づくりや「もしもの時」に対応できる関係づくりを目指します。

実践目標②

誰もが生き生きと楽しくつながろう

高齢化や人口の減少、そこにコロナが追い打ちをかけて地域行事や伝統行事が失われつつあり、地域全体での集まる場や交流も少なくなりました。昔はあった世代間を通じたご近所同士のつながりや助け合える関係が希薄になるのではないかと心配されます。そのような課題に取り組むために、伝統の遊びやふるさと料理を教え合ったり、若い人の思いを受け入れた行事を行うなど、近隣のつながりづくりを見直すことで生きがいづくりやリーダーの発掘にもつなげます。

実践目標③

自ら作ろう安全・安心 自主防災組織

近頃では、豪雨災害や土砂災害、地震など予測がつかない大災害が全国で発生しています。山間部に住む私たちにとって防災への対応は欠くことができないものとなっていますが、防災への意識が薄く、自主防災組織も機能していないのが現実です。さらに、避難訓練や防災学習などの実施を希望する声がありますが実施までに至っていません。今後は、地域住民自ら自主防災組織の立ち上げや既存の自主防災組織を充実させることで防災への意識を高め災害時にも安心安全に行動ができる組織作りを目指します。

他にも出ましたこんな課題!!

趣味を生かした
高齢者の生きがい
づくりを進めよう

みんな仲良し
明るい未来にしよう

後見人制度の学
習の場をもとう

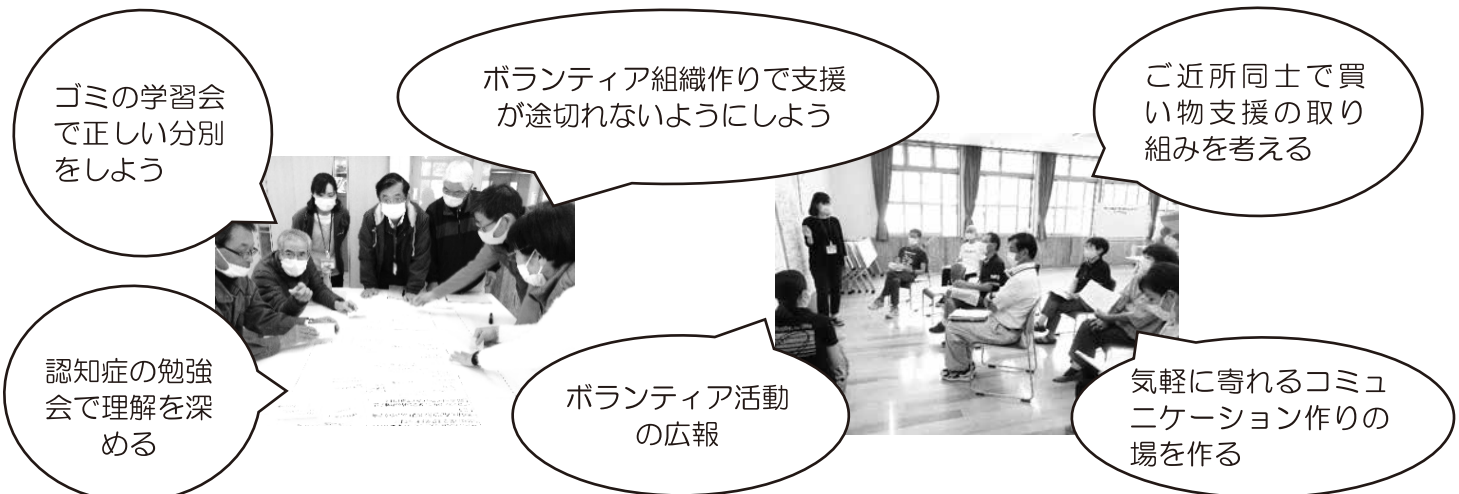


広域の
ネットワークづく
りを進めよう

自治組織を生
かした地域づ
くりを考える

【山国】

活動内容	進 捗				
	R4	R5	R6	R7	R8
ミニサロンを作って気軽に集まれるようにする					
困った時に助けてと言える関係づくりをする					
地域の支え合い見守りを継続できる体制を作る					
訪問して声掛けの機会を多く作る					
地域行事やサロンなどで、老若男女の役割を固定せず行う					
見守りネットワークを地区に広げていく					
伝統行事の継承					
遊びで世代間交流をする					
地域の人の特技を生かす場所づくり					
若者の意見や新しいものを取り入れた行事もしていく					
地域行事やサロンなどで老若男女の役割を固定しない取り組み					
リーダーの育成					
いつまでも自宅で暮らせる体カづくりを行う					
普段から消防団との話し合いや交流を行う					
災害の流れがわかる防災訓練を小地域で実施する					
災害関係の集会を定期的に行き常に意識づける					
サロン等の場で、地震の時の避難訓練をする					
小地区の無線も利用して周知する					
避難場所が危険な時はそれ以外の待機場所を決める					

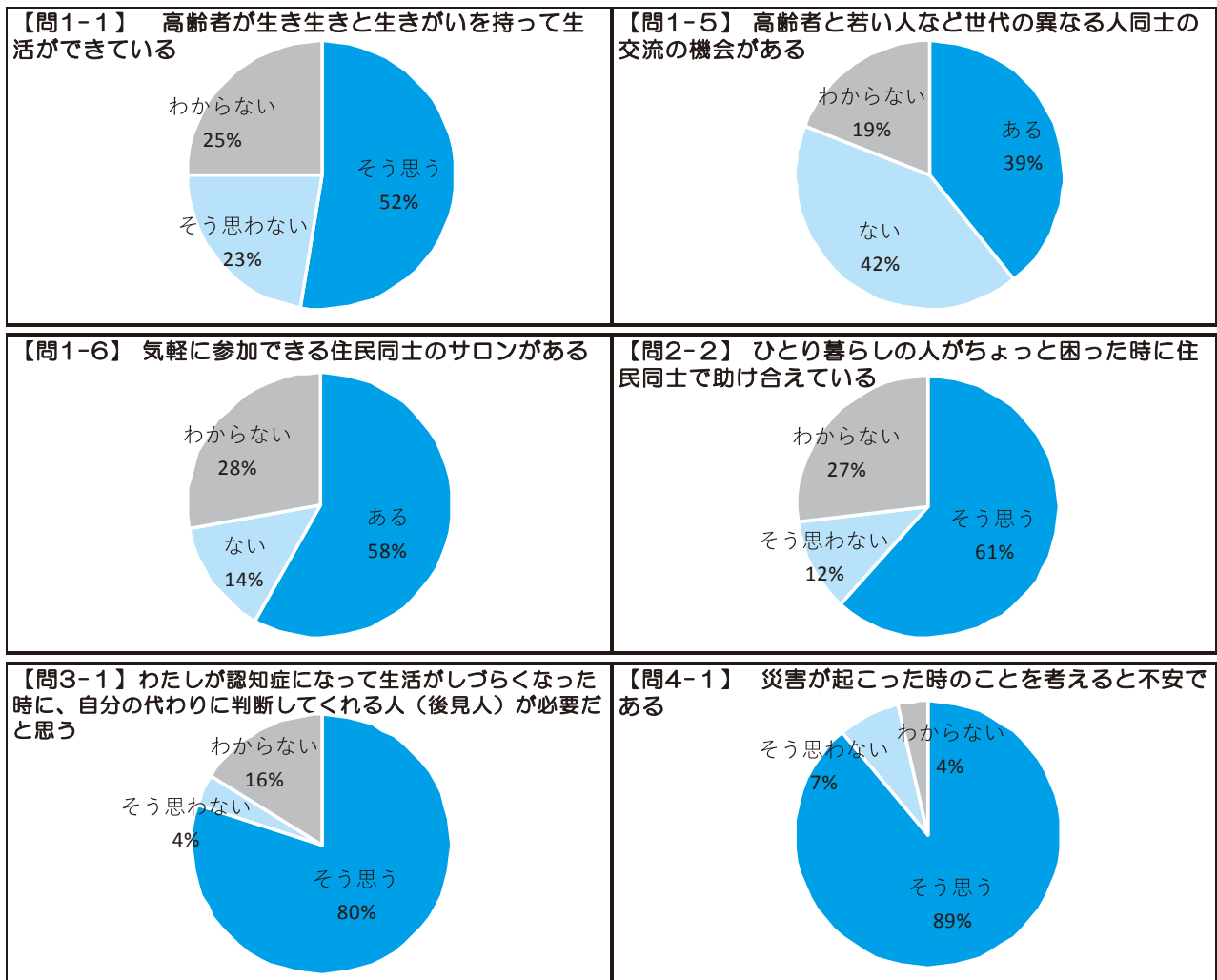


第4次の実践目標はこうして決まりました

山国地区の「地域のつながりアンケート」結果

回答者数	80人（男性36人/女性44人/無回答0人）
回答者年代	中学生・高校生：9人、20代：1人、30代：7人、40代：5人、50代：6人、60～64歳：5人、65～74歳：33人、75歳以上：14人

内容抜粋 無回答分は除いています



アンケート結果から作業部会で出た意見(課題)

- いつまでも野菜作りができる体力を維持していく体力づくりの取り組み
- 地域行事やサロンなどでは老若男女の役割を固定しない取り組みが必要
- 地域みんなに周知できる、情報発信の方法や手段を考える必要がある
- この地区の問題点や今回出た意見を若い人達に伝え現状を知ってもらう
- お茶会や、生きがいや楽しみの場を作るには移動手段を確保する
- 家族や地域の人も認知症の勉強会が必要
- 障がい者との交流会や環境づくりをして関わりを持つ
- ゴミの分別や出す日が間違っていることが多いので、何度もゴミ集会を開いて習慣づけてもらう
- 災害関係の集会を定期的に関き常に意識づける



作業部会で出された、山国の良いところ

- ・サロンが活発に行われている
- ・公民館活動を通じて世代間の交流がある
- ・児童の見守り隊の活動が盛ん
- ・見守り体制づくり「見守りネットワーク」がある
- ・清掃や消防団など地域の活動に積極的に参加する人が多い
- ・高齢化しているが、地域の人々が支え合い見守りができている
- ・問題が起これば話し合っ協力し合っている自治区がある
- ・つながりを持つ趣味や交流で生きがいを作っている人が多い
- ・交流の場を定期的にもって地域の課題を話し合っている地区がある
- ・防犯対策が進み、以前より治安が良くなっている
- ・移動販売車が来てくれるので助かっている



様々な意見をもとに作業部会で、整理をし、第4次地域福祉活動計画を作っていました



山国の社会資源

(R3 年度現在、登録状況や作業部会の方々の意見を参考に作成しています)

お宝 (住民による住民のための支え合いや参加を進める活動のことです)

住民同士の交流・つながりの場	広域型いきいきサロン	たいしょう陣 (第3土曜・旧溝部小学校)
	いきいきサロン (18)	中摩ふれあいサロン、市平あぜみちの会、守実いきいきサロン、小屋川お楽しみ会、大杉の会、春田ふれあいサロン、守実公民館元気クラブ、鳶ヶ城サロン、槻木ふれあいサロン、上村なかよしサロン、草本すみれ会、婦人警防藤野木班やすらぎ、犬王丸ふれあいサロン、平小野「コロナ」サロン、殿畑の会、みさとサロン、長尾野ふれあいサロン、吉野けんこう隊
	週一体操教室 (2)	朝陽健康クラブ (毎週月曜・山国社会福祉センター) 守実健康クラブ (毎週金曜・守実コミュニティーセンター)
	その他	十日会 (毎月10日・市場公民館)
山国で活動する地域ボランティア		吉野草グループ、八日会、やまくにの歴史と文化を学ぶ会、やまくに山村塾、奥耶馬紅ひよっとこ衆、槻木源流ボランティア、はなみずきみぞべ、杉の子会、春田十人会
住民型有償サービス		やまくにつゆくさサービス
防災活動		消防団、中津市防災士協議会山国部会
防犯活動		三郷っ子見守り隊
見守り活動		見守りネットワーク (4ヶ所)
その他		山国町民生児童委員協議会配食サービス (年2回)

関係機関が主催する交流の場・社会貢献活動

名称	主催	対象・内容
オレンジカフェやまくに	地域包括支援センター社協	認知症の方やその家族等が気軽に参加できる場
よりあ	山国地区生活支援コーディネーター	75歳以上のひとり暮らしの方への孤食予防・食事作り・共食の場作り

地区内の相談窓口

高齢者の生活全般に関する相談窓口	地域包括支援センター (高齢者相談支援センター) 社協
民生児童委員による心配ごと相談窓口	毎月第3水曜 9:00 ~ 12:00 山国社会福祉センター
生活支援コーディネーターによる相談窓口	毎週第3水曜 13:00 ~ 16:00 山国社会福祉センター

その他の相談は、社会福祉協議会または市の総合相談窓口 (P.153参照) にお問い合わせ下さい